

事業による用水とほ場の整備による経営規模拡大 ～佐賀県白石町 G経営体～

経営体の概要

事業実施前：平成10年
基幹作物：レンコン、水稲、麦、大豆
経営面積：3ha

現在：令和5年
基幹作物：レンコン、水稲、麦、大豆
経営面積：18ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

●クリークから、一筆ごとにポンプアップし用水管理。水管理に手間がかかるとため現在より小規模経営。

【事業実施後】

●国営筑後川下流事業により用水を安定確保。
●ほ場ごとにパイプライン整備されたことにより、給水栓から用水供給され手間と作業時間が短縮。経営規模拡大へつながる。



レンコン栽培ほ場と給水栓



整備されたほ場とクリーク

営農改善、経営転換等のポイント

①経営規模の拡大・土地利用調整

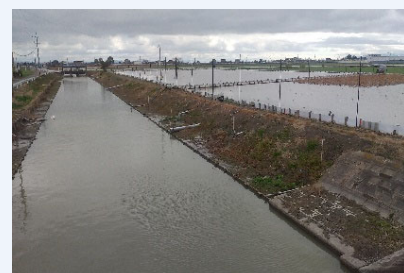
父親から継承し平成10年に就農。昭和58年ほ場整備でパイプライン化され、クリークからポンプアップしていた作業が省力化。また、平成24年頃、国営筑後川下流事業の通水が開始され、水源が安定したことから、レンコン栽培面積を拡大(1ha→3ha)するとともに、地域の担い手として他農家からの農地の預けが増え、米麦大豆の生産面積も拡大。

②栽培技術の確立・向上

就農時はレンコンの早生及び晩生品種を栽培していたが、晩生の栽培に切替え、水稲等との作業を分散。作付時は土づくりを積極的に実施し、化学肥料に頼らないよう稲麦わらの還元や地域資源である豚フン堆肥等を施用。

③流通・販売の工夫

レンコンはJAに全量出荷。JAさが白石地区蓮根部会を通じて販売先市場の情報収集等を行うとともに、より良い商品づくりのための勉強など同部会の中心として精力的に活動。佐賀白石レンコンの産地をリード。



事業概要

事業種：国営筑後川下流土地改良事業
関係市町：福岡県久留米市他7市町
佐賀県佐賀市他11市町
受益面積：40,899ha
事業期間：昭和51年～平成30年
事業目的：用水改良
主要工事：揚水機場3箇所、導水路L=23.9km
幹線水路L=208.5km 等

位置図



筑後川下流地区

<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化推進係
電話：096-300-6498

(令和5年度調査時点)